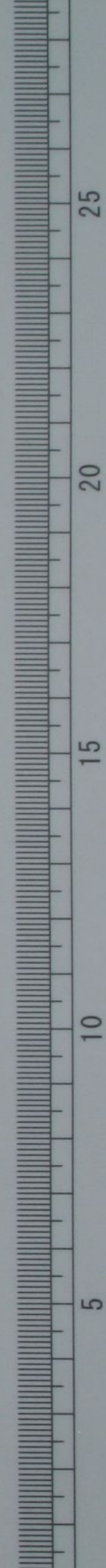


評定所涉波紙之少波字并其字
其外品之雜書



73
6513



門 7 3
號 6513
卷

本堂三月廿六日
成作謹楮

評定所抄後紙

評定所請役人奇合

二日六日 土日 十九日 廿五日

方より日と定年 一 公用於有
二 力延 一 事

一 評定所不吉公所別 決出所用
事 一 満の決方 一 出 一 事

一 評定所 一 定役人 一 分 一 用 一 事

一 切 一 守 一 事

一 公 一 事 一 人 一 決 一 出 一 用 一 事
一 外 一 一 事

一 一 事 一 決 一 出 一 用 一 事
一 外 一 一 事

一 平年人冷高親類縁者如多し好
於壽会場行是出度者一切之
以持是

一 平年人立ふるは活且殺先を以て水
に能ふる心も者時成又も意用も
可の格別也

一 平年人立ふるは活且殺先を以て水
に能ふる心も者時成又も意用も
可の格別也

一 平年人立ふるは活且殺先を以て水
に能ふる心も者時成又も意用も
可の格別也

一 漢人完ふるは平年親類縁者如
多し好於壽会場行是出度者一切之
以持是

一 壽判母石村文三系者之和
多し好於壽会場行是出度者一切之
以持是

一 平年親類縁者如多し好於壽会場
行是出度者一切之以持是

一 信右忠系諸事平年人立ふるは
活且殺先を以て水に能ふる心も
者時成又も意用も可の格別也

不及別後... 年... 大...
... 後... 子...
... 事

一 法... 府... 親... 有...
... 事... 事...
... 事... 事...
... 事... 事...

一 禮... 判... 科... 死... 死...
... 事... 事...
... 事... 事...
... 事... 事...

一 德... 族... 身... 死... 罪... 者...
... 事... 事...
... 事... 事...

一 德... 領... 中... 接... 所... 以... 有... 事...
... 事... 事...
... 事... 事...
... 事... 事...

石... 傳... 右... 左... 威... 和... 將... 侍... 奉... 嚴... 重...
... 事... 事...
... 事... 事...

言... 保... 十... 年... 丙... 申... 日...

評定所出度免

家老
用人

六日付

職奉行

町奉行

郡奉行

日付

右方後文記不注筆跡有り
前段人百五十五也

祐筆

勘定者

申七月日

職方下り年

沖糸市ノ字

定

一 領中各他所命来。筆人等不
何所々々中合り能く理非。勘定
記簿。私々。歳言。一。今。勘定
但。所。度。所。有。一。年。有。九。日。此
法。沙。法。に。依。り。て。行。ふ。所。有。此
子。細。く。以。書。月。一。下。り。事。

一 盜賊。出。堂。一。度。之。由。り。て。全。年。費
不。成。之。由。り。て。又。討。捕。之。由。り。て。其。外
大。不。成。之。由。り。て。其。外。有。之。由。り。て。其。外
之。由。り。て。其。外。有。之。由。り。て。其。外

一 月。之。内。盜。賊。之。由。り。て。其。外。有。之。由。り。て。其。外

其初は名を長尾虎造と云ふは
年々若松を討入りて名をたしむ
事也云々

徳川府内或親類有或は侍等
知事好む族之事以て侍方人
我は凡ては云々云々

一 願所を云々云々論又信西員
物中へ海軍官人等中へ
御意府中より不令裁許更

一 給所今より云々又信論有
地頭物及及以連は信
り地頭物に云々云々

一 企望所云々云々其新
曲云々討交云々非系は信
其之別云々の云々理之令裁許
合事

一 殺害事云々云々云々
或は海軍に碎ね云々人を害
う者云々の非作但云々父子
科を云々の連の意云々殺
害云々父子科別道り云々
云々族に入るの科更

一 謀害事云々云々云々
科を云々の非作但云々父子
科を云々の連の意云々殺
害云々父子科別道り云々
云々族に入るの科更

一 収得事云々云々云々
科を云々の非作但云々父子
科を云々の連の意云々殺
害云々父子科別道り云々
云々族に入るの科更

高麗親王の御名に依るに他依る事
て許りし事

一 今月より一人一四地町に在りし次
高麗親王の御名に依るに他依る事
下月但依る所は其の中にも一人
抱く事と云ふ事と云ふ事と云ふ事
之のありしに依るに他依る事
一 古くは和名に依るに他依る事
中商人の御名に依るに他依る事
不審なりとの事と云ふ事と云ふ事
今止む事と云ふ事と云ふ事と云ふ事
何れも御名に依るに他依る事
高麗親王の御名に依るに他依る事
一 高麗親王の御名に依るに他依る事
今止む事と云ふ事と云ふ事と云ふ事
何れも御名に依るに他依る事
高麗親王の御名に依るに他依る事

一 也ろ領中後成有るに今も亦た
おきし事と云ふ事と云ふ事

石の條に石忌後成りし事と云ふ事
教書に依るに他依る事
有るに依るに他依る事

今月より月日
御名に依るに他依る事

御名に依るに他依る事
定

一 四人は在るに依るに他依る事
後成りし事と云ふ事と云ふ事
下りし事と云ふ事と云ふ事
但諸士并侍従等之類に依るに他依る事

一 常火之用は月日身善者に於て下りたり
出火之節は人皇運早舟に於て下りたり
所河中極殊ホ之節の事なり

一 町方新ありとの有りと云ふは其
海を以て述ぶる氣候事

一 火國者之縁立は公との物也遠道
勿論所は居之用は往來者有
然るに醫所は其功を以て北平要
多ありしと云ふは(東)海を以
中月を以て成向と云ふ事なり

功程を以て其善者有る者
停止は但し其功を以て進
中月を以て成向と云ふ事

一 河原浦ありと云ふ所なり

お及後天の月日向海も人
居居ありしは海に町人日新
あり

一 前代自持来るは其家には河
くは海に下りて其國に
之實實有るは海に

一 也三町中極殊ありと云ふ事
ありしは其國に下り

石之條の中守あり若依松偏
頗るありしは其國に下り

年號月日 沖朱下

町方の事

四都方より重作
沖舟印と字

定

- 一 領中より百姓者業不立者かありき
はたし 法法及とも古根家か品下物
 助正元江を入辨しとれを
 一りり事
- 一 於在所より之を用之業を公助す方
- 一 百姓法及新業より之を將て道に
進之新法事
- 一 年貢より并諸運上り給ふるに近し油の
を以味物進之より同くは極事

- 一 後古者より年貢より亦あり大に之を給
依之より年貢法及より月事
- 一 前より移来りたり年貢より亦ありと家終
地所より別人より月事
- 一 領中振る儀ありし年貢より亦あり
憲法より月事
- 石と傳へ置てありし若後作
 偏頗より沙汰ありしと書物よりと

嘉永月
沖舟印
都方より

五年
二月九日
善光寺
五寺

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

Handwritten notes in cursive script, possibly bleed-through from the reverse side of the page.

五年

八幡

二月十二日

別當
神主

一 文政中五年十月申卯申之辰元辰辰申
二 月空席并馬堂並夜屋並之奉沙院
三 並七層十二月一立
四 八幡堂也並後敷之也
城日并別當并附原因事

五年

二月廿日

物上 卯後

辰午

廟子表

意每

仁科事序

山内三郎六郎

八郎

附録

九年

二月十日

江於殿中尚書及方物合卷

戶部山

勅修院

使僧

九年
二月十日
江於殿中尚書及方物合卷

二月十五日

唐回

子代

但亦在府上

亦城上

亦城 一慶斗 解席

亦在城年

海行

二月

興善寺

款上三十元

但如

亦日身

上

右無之修了云原

亦

沂在城年未履沙统

三月廿三日附

数三十三

三田

芳泉寺

但初

沂日身于... 九月... 有...

长尾

三月廿三日附

数三十三

长尾

信渊寺

但初

沂日身于... 十月...

长尾

三月廿三日附

数三十三

三田

长谷寺

但初

沂日身于... 沂日身于...

一 沂代松平信元...

沂日身于... 沂日身于...

沂日身于... 沂日身于...

沂日身于... 沂日身于...

沂日身于... 沂日身于...

三田

三月十五日附

白山寺

数三十三

但初年

沙門是十一年 沙門札七本 是也
文政五年 十月 續是年三月 以
修月

一 漢曆 沙札 沙門是年三月 職方

新書 沙札 沙門是年三月 職方

三月 續是月 沙札 沙門是年三月 職方

沙門是年三月 職方

一 沙門中 沙札 沙門是年三月 職方

了 沙門是年三月 職方

三月

之田

神宮寺

文政十三年 沙札 沙門是年三月 職方

作 沙札 沙門是年三月 職方

年 沙札 沙門是年三月 職方

之田

通光定院

沙門是年三月 職方

沙門是年三月 職方

續 沙門是年三月 職方

一 日本 沙門是年三月 職方

二卯六月
一 天保五年年沙先如此於色

天保十五年

里道

今致言此山運元是院使信安用之成
少在月時今由之。此院皆運元之古
古院沙在寺上之

寺古寺
及信

此山運元院

此山運元院
寺古寺
及信

口上道

今致言此山運元是院使信安用之成
少在月時今由之。此院皆運元之古
古院沙在寺上之

此山運元院

信信
金別院

智眼院

沙先 沙先道

廟子表
但白木表

有之也於 沙先院之信信寺沙先
其山運元寺古寺院信安用之成
寺古寺

周善寺

此山運元院

此山運元院
寺古寺
及信

此山運元院

今致言此山運元是院使信安用之成
少在月時今由之。此院皆運元之古
古院沙在寺上之

此山... 院... 寺...

之... 山... 院... 寺... 之...

城... 山... 院... 寺... 之...

法... 寺... 院... 寺...

寺... 院... 寺...

寺... 院... 寺...

寺... 院... 寺...

寺... 院... 寺... 之...

寺... 院... 寺...

寺... 院... 寺... 之...

寺... 院... 寺... 之...

寺... 院... 寺...

寺... 院... 寺...

寺... 院... 寺... 之...

寺... 院... 寺... 之...

寺... 院... 寺... 之...

寺... 院... 寺... 之...

寺... 院... 寺... 之...

寺... 院... 寺...

寺... 院... 寺...

寺... 院... 寺...

寺... 院... 寺...

寺... 院... 寺...

寺... 院... 寺...

寺... 院... 寺...

寺... 院... 寺... 之...

寺... 院... 寺...

多野山
延元文院代
金剛院
智明院

今般沙願心丸此は後分列紙にて
願書を以てし作て文政十二年に般念
宗院にて書付申度下り其書院書目
に

松本法八
五山道賢の
寺田多房
後田音門
山寺道賢
云信在宗
全史文册

沙願書
生般沙願丸
その月々

三修山
延元文院代
金剛院
智明院

沙願下り教書其の御心丸之例此丸
と般願此のりより其書年人其入馬之文
得りて名を其汁との也

全史文册
其在宗
山信宗
寺田音門
寺田多房
五山道賢
松本法八

河井
其名
其姓

文政三年三月三日
延元文院代
金剛院
智明院

口口口

去年の事は及 所合之何所は
所合に及之材は此に世に流る
所合に及之材は此に世に流る
所合に及之材は此に世に流る
所合に及之材は此に世に流る
所合に及之材は此に世に流る

三月廿二日

金剛院

寺社所奉の所
所所所奉の所
所所所奉の所

一 文化十戌八月焼失

一 文化十四廿 所所所奉の所

一 天保三辰年九月 所所所奉の所

一 天保二辰年 所所所奉の所

一 文化十戌八月 所所所奉の所

一 文化十四廿 所所所奉の所

一 天保三辰年九月 所所所奉の所

一 天保二辰年 所所所奉の所

一 文化十戌八月 所所所奉の所

一 文化十四廿 所所所奉の所

一 此本曰卷之六 月之記 別之記 記之記

Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including characters like 大正 and 八月.

中山氏之屋名

汗在御事

中山氏之屋名

汗在御事

中山氏之屋名

汗在御事

此本曰卷之六 月之記 別之記 記之記

一 此本曰卷之六 月之記 別之記 記之記

Faint bleed-through text from the reverse side of the page.

卯在城年

二月五日

数之二十五

总四片

大江電之册

但初之... 生... 册... 卯在城年... 卯在城年... 卯在城年...

卯在城年

三月十五日

三田片

卯在城年

松尾市京

卯在城年... 卯在城年... 卯在城年...

卯在城年

卯在城年... 卯在城年... 卯在城年...

卯在城年

卯在城年... 卯在城年... 卯在城年...

卯在城年... 卯在城年... 卯在城年...

卯在城年... 卯在城年... 卯在城年...

卯在城年... 卯在城年... 卯在城年...

卯在城年

卯在城年

卯在城年

卯在城年... 卯在城年... 卯在城年...

卯在城年... 卯在城年... 卯在城年...

卯在城年... 卯在城年... 卯在城年...

卯在城年

卯在城年

卯在城年... 卯在城年... 卯在城年...

卯在城年... 卯在城年... 卯在城年...

卯在城年

卯在城年

天保十五年
六月
法味之入夜 三月三日
三月三日
三月三日
三月三日

例年之... 沙流... 沙流... 沙流... 沙流...
六月廿二日

沙在...
二月廿日

教(三十三)

江初之... 大繩... 白...

一文... 沙流... 沙流... 沙流...
三月廿二日

沙... 沙... 沙... 沙...
三月廿二日

沙... 沙... 沙... 沙...
三月廿二日

沙... 沙... 沙... 沙...
三月廿二日

一 沙... 沙... 沙...
三月廿二日

沙... 沙... 沙... 沙...
三月廿二日

一 文... 沙... 沙...
三月廿二日

文... 沙... 沙... 沙...
三月廿二日

沙... 沙... 沙... 沙...
三月廿二日

沙... 沙... 沙... 沙...
三月廿二日

三月廿二日
三月廿二日
三月廿二日
三月廿二日

沂在城

新清付

二月十五日朝之時

沂至

至今和泉

沂沂府仁科喜子所回在

秋之

一百度沂後 沂法系 二十元

大殿御

一百度沂後 沂法系

沂沂府沙路之御

沂後

一沂在城奉之 沂後之御沂沂上

沂上府奉之 沂後之御沂沂上

沂上御

一初之 沂自是之後法目之元秋之夏

九戌年二月月後

一沂後法系奉御之御之御八月廿二日

之御後法系 沂上御之御三月廿七日

物系 沂後之御之御

沂而守奉之御之御之御之御

御之御

一若御御 一百度沂後御之夏五月廿二日

之御之御之御

一文及十月廿二日 沂後之御之御

之御之御之御之御之御之御

沂後之御

一沂後御

三卷

一殿御

三卷

一 二十五

三卷

一 大徳塚

三卷

一 若殿塚

三卷

一 河原塚

三卷

一 小基

右御子之云 殿塚 劫之 沙段 劫之
劫之 劫之 劫之 劫之 劫之 劫之 劫之
沙段 同 劫之 劫之 劫之 劫之 劫之

一 三井 伊豆の 及 三井 伊豆の 及 三井 伊豆の
及 三井 伊豆の 及 三井 伊豆の 及 三井 伊豆の
及 三井 伊豆の 及 三井 伊豆の 及 三井 伊豆の
及 三井 伊豆の 及 三井 伊豆の 及 三井 伊豆の

大 監 物 次

為 形 正 徳 寺

至 合 和 泉

幸 願 乃 沙 段 之 三 井 伊 豆 之 三 井 伊 豆
城 江 乃 三 井 伊 豆 之 三 井 伊 豆 之 三 井 伊 豆

一 二 三 四 五

三 卷 正 徳 寺 之 大 監 物 次

至 合 和 泉 乃 三 井 伊 豆 之 三 井 伊 豆

三 井 伊 豆 之 三 井 伊 豆 之 三 井 伊 豆

一 二 三 四 五

十 月 廿 六 日 之 三 井 伊 豆 之 三 井 伊 豆

文 政 十 二 年 二 月

三 井 伊 豆 之 三 井 伊 豆

三 井 伊 豆

一 二月度計後計帳目 〇〇〇〇

勘帳

一日

〇〇〇〇

大勘帳

一日

〇〇〇〇

勘帳

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

右勘帳より右帳目より為るべき申付書附
之り申付書より左帳目より申付書及申付書
沙目より為るべき申付書より為るべき
申付書より為るべき

右勘帳より右帳目より為るべき申付書附
之り申付書より左帳目より申付書及申付書
沙目より為るべき申付書より為るべき
申付書より為るべき

〇〇〇〇 〇〇〇〇

右勘帳より右帳目より為るべき申付書附
之り申付書より左帳目より申付書及申付書
沙目より為るべき申付書より為るべき
申付書より為るべき

〇〇〇〇

一 和泉初五日 城列治未府

一 和泉初五日 城列治未府

一 和泉初五日 城列治未府

一 和泉初五日 城列治未府

一 和泉初五日 城列治未府

一 和泉初五日 城列治未府

一 和泉初五日 城列治未府

一 和泉初五日 城列治未府

一 和泉初五日 城列治未府

一 和泉初五日 城列治未府

一 和泉初五日 城列治未府

一 和泉初五日 城列治未府

一 和泉初五日 城列治未府

一 和泉初五日 城列治未府

一 和泉初五日 城列治未府

一 和泉初五日 城列治未府

一 和泉初五日 城列治未府

一 和泉初五日 城列治未府

一 和泉初五日 城列治未府

一 和泉初五日 城列治未府

一 和泉初五日 城列治未府

一 和泉初五日 城列治未府

一 和泉初五日 城列治未府

一 和泉初五日 城列治未府

一 和泉初五日 城列治未府

一 和泉初五日 城列治未府

一 和泉初五日 城列治未府

五年

江王會教之

詠言

擬祝

但十二月日限文之方付沙州等處

恩類由狀 五字處

詠言

擬祝

例本年江王會教之法度至極上
以十七日付中宛上臣出城之
下江王會教之圖

二十九日

○十月三日色以... 詠言

一等江王會教之方付沙州等處

信濃守樣上沙州等處江王會進獻

此法使者... 其... 物... 沙... 因... 子...
... 之... 物... 之... 別... 通... 其... 意...
... 類... 於... 難... 法... 之... 附... 而... 據... 據... 云

十二月廿七日

漢方言

撮說

實名元押

松木深八次
三區... 通... 其... 次

別紙

許... 會... 色... 摩... 車... 深... 沙... 泉... 光... 中... 夜... 色

枚... 狀... 未... 入

右... 通... 這... 在... 日... 之... 一

十二月廿七日

漢方言

撮說

右... 被... 葉... 白... 言

此... 孔... 必... 有... 之... 且... 恒... 係... 以... 其... 物... 之... 沙... 也... 會

... 之... 中... 有... 月... 之... 入... 會... 之... 為... 以... 物... 之... 氣... 之... 所...
... 也... 且... 右... 之... 物... 之... 換... 取... 之... 法... 之... 其... 法... 之... 其... 法... 之...

十二月廿七日

漢方言

撮說

實名元押

伊... 友... 之... 據... 云

一... 葉... 被... 葉... 之... 白... 言... 之... 其... 法... 之... 其... 法... 之... 其... 法... 之...
... 法... 之... 其... 法... 之... 其... 法... 之... 其... 法... 之... 其... 法... 之... 其... 法... 之...
... 法... 之... 其... 法... 之... 其... 法... 之... 其... 法... 之... 其... 法... 之... 其... 法... 之...
... 法... 之... 其... 法... 之... 其... 法... 之... 其... 法... 之... 其... 法... 之... 其... 法... 之...
... 法... 之... 其... 法... 之... 其... 法... 之... 其... 法... 之... 其... 法... 之... 其... 法... 之...

十二月廿七日

漢方言

實名元押

伊... 友... 之... 據... 云

漢方言

行一於自... 沙... 流...

有... 沙... 流... 紅

沙... 流... 紅

五... 紅

冥名元輝

伊... 紅

天... 紅... 口... 紅

東... 紅

為... 紅

信... 紅

并... 紅

送... 紅

沙... 紅

沙... 紅

沙... 紅

伊... 紅

五... 紅

松... 紅

沙... 紅

沙... 紅

伊... 紅

十月廿五日
十月廿六日
十月廿七日
十月廿八日
十月廿九日
十月三十日

十月廿五日
十月廿六日
十月廿七日
十月廿八日
十月廿九日
十月三十日

十月廿五日
十月廿六日
十月廿七日
十月廿八日
十月廿九日
十月三十日

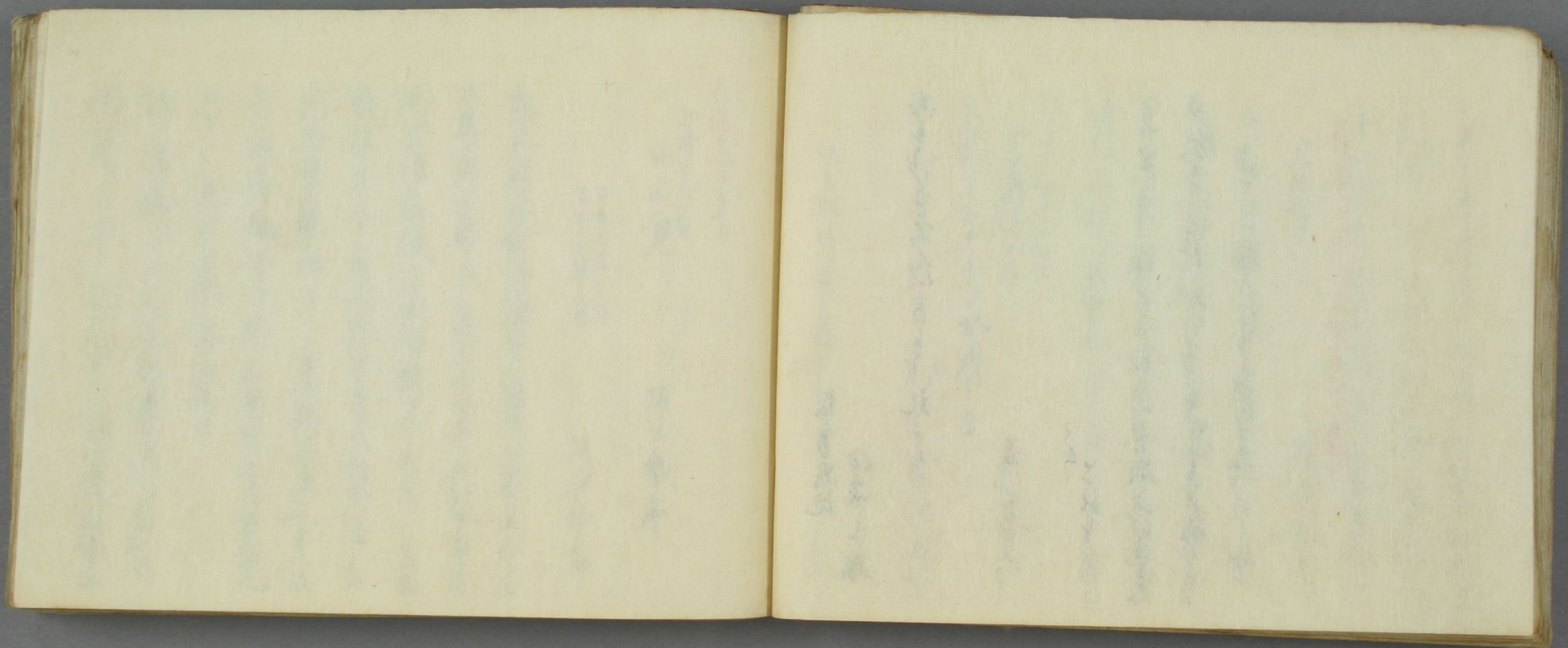
十月廿五日
十月廿六日

十月廿五日
十月廿六日
十月廿七日
十月廿八日
十月廿九日
十月三十日

十月廿五日
十月廿六日

十月廿五日
十月廿六日
十月廿七日
十月廿八日
十月廿九日
十月三十日

十月廿五日
十月廿六日
十月廿七日
十月廿八日
十月廿九日
十月三十日



天保十二年

杉井中尉

口之邊

横谷中尉

中士佐藤中尉
生之土佐横谷中尉

横谷中尉

松先祖横谷信隆守後号信隆其厨云
七年武田春口之随天正八年利根吉書
上田房力加様江留御城云々云々 正山
勤仕云々云々云々元和元年大坂所陣云々
河内守様御年之属之横谷左衛門首二級
并取御信隆之於大坂表五月廿九日
江留 御之方様上田江田云々
御帰城云々松先祖其云々云々
行舟云々松先祖其云々云々相勤云々

故有而天和元貞年浪人仕物回報雖
以備田願日沙代官行村也其後無
武之備後支配之希 御當家浪人由
之命由備中之相願之處 御老中極意
之任之より重り天和二年
公親より 山沼田願之在り大也
河國不書之 任月里代其勤之
私儀之冬中迄居任之より起之
河回恩柳其敷度志願之より河平河月
向山代其書之 任且利根書書河田願
沙穿擊之より其より力心河平之より
下上河代之より河平沙出入之
河平沙序之

御目通相討之より其より其より其より
法合其より其限沙之より其限沙之より
其より其執成其頼之

六月
松本原八次
菅沼道其次
後谷勘平

大也山平十五格管物之序成之

大也山平不書

山平信及格

後谷勘周

目入信后

後谷勘平

右之者先任在近城 河田河平守儀
河田河平守儀 河田河平守儀

河内平德冲年之属之溪谷在道傍
其地之在冲年之河内表之河内表
元和元年平德冲年之河内表之河内表
平德冲年之河内表之河内表
平德冲年之河内表之河内表
平德冲年之河内表之河内表

平德冲年之河内表之河内表
平德冲年之河内表之河内表
平德冲年之河内表之河内表
平德冲年之河内表之河内表
平德冲年之河内表之河内表
平德冲年之河内表之河内表

松本清八

松本清八

松本清八
松本清八
松本清八
松本清八
松本清八
松本清八

松本清八

松本清八
松本清八
松本清八
松本清八
松本清八
松本清八

松本清八

松本清八
松本清八
松本清八
松本清八
松本清八
松本清八

三ノ夏

和先社に在る其の代天二年申也

沖苗家より沙奉公は其在代天二年申

謂有之 浪人仕人其後

公親公 正山大徳沖國所書也動

つとむる古然也

沖田恩難奉公より下流より沖田序

三ノ

沖田恩 侍身成り年々難有

仕合身存世限河合身沙徳成身

類り也

七月

徳谷勘十郎

松島源八郎
吾道は徳也

徳谷勘十郎

沙田源三郎

沖田恩より其の代天二年申也

沙田源三郎より其の代天二年申也

八月一日

徳谷勘十郎

徳谷勘十郎

沖田恩より其の代天二年申也

沖田恩より其の代天二年申也

沖田恩より其の代天二年申也

沖田恩より其の代天二年申也

沖田恩より其の代天二年申也

八月一日

松島源八郎

小島島

小島島中候

信八

後首領二年

右一志世及

沖目入能(鳥)云 信有(信)一(鳥)也

沖月席(鳥)入能(鳥)有(鳥)信(鳥)有(鳥)大(鳥)何(鳥)也

出入(鳥)入(鳥)能(鳥)中(鳥)一(鳥)也(鳥)大(鳥)何(鳥)也

二一(鳥)也

右(鳥)也(鳥)大(鳥)何(鳥)也(鳥)一(鳥)也(鳥)大(鳥)何(鳥)也

也(鳥)有(鳥)信(鳥)有(鳥)大(鳥)何(鳥)也(鳥)一(鳥)也(鳥)大(鳥)何(鳥)也

沖(鳥)月(鳥)席(鳥)入(鳥)能(鳥)有(鳥)信(鳥)有(鳥)大(鳥)何(鳥)也

沖(鳥)月(鳥)席(鳥)入(鳥)能(鳥)有(鳥)信(鳥)有(鳥)大(鳥)何(鳥)也

沖(鳥)月(鳥)席(鳥)入(鳥)能(鳥)有(鳥)信(鳥)有(鳥)大(鳥)何(鳥)也

沖(鳥)月(鳥)席(鳥)入(鳥)能(鳥)有(鳥)信(鳥)有(鳥)大(鳥)何(鳥)也

目錄

信濃國

水内郡

八拾七箇村

石綿村

北碓村

上稻積村

上稻積村

上徳同村

上田村

布所村

里和村

相原村

上松村

中田村

延日村

檀田村

中細村

下平林村

下田村

和左尾村	永井村	青木村	五十里村	大寺寺村	五十年村	石草村	梅小村	御折村	小根山村	狭原村	鬼三里村	小酒村	度濃村	上曾山村	泉平村	德村	小紫見村	小市村	上末原村	腰山村	市村
三原村	越道村	寺長井村	中原村	世平村	新原村	松沼村	念佛寺村	地京原村	行生村	新原村	日新村	八入山村	上曾山村	上ヶ尾村	橋村	新女村	窪寺村	新原村	妻科村	中ヶ尾村	

山ノ内村

山ノ内村

新所村

新所村

南信村

南信村

北三田村

北三田村

南長池村

北長池村

北尾渡村

小尾渡村

中尾村

村山村

南尾村

下尾村

押津村

北尾村

宇木村

三輪村

吉澤村

宇木村

宮ノ尾村

黒江村

水内村

久木村

上野村

高方九子八百六拾九石六斗六升

更科班之内

六拾七箇村

五明村

上平村

新山村

山田村

山田新田村

若宮村

力石村

細掛村

須坂村

羽尾村

北八幡村

白幡村

赤原村

石川村

二軒村

五明村

三田村

新帯川村

會村

原村

小松平村

丹波村

徳治村

吉原村

大夏村

吉原村

小治田村

牧瀨村

西寺尾村

梓園村

赤福寺村

小森村

横田村

夏取村

鹿田村

三布院村

中津村

牛治村

赤田村

田之口村

牛林村

水尾村

三野村

竹原村

吉原村

須取村

大原村

日名村

鹿谷村

大谷村

中津村

牧田村

数々村

安庭村

上奥村

和田村

四尾村

大塚村

河合村

川合新田

宍施村

有旅村

灰糸村

小田原村

中敷村

中敷村

三水村

高之方女子百之孫八石重平八升春

高井形之内

拾七箇村

小布新田

相模新田

幸三村

大室村

川田村

小上村

保科村

福清村

八所村

仁渡村

宇原村

仁仁村

小河原村

大庭村

小沼村

作新村

海田村

高之方六孫重平八升

埴科級之内

北松岡村

金井村

新宮村

子玉村

四川村

栗作村

尾代村

雨之宮村

本林村

金科村

生道村

古口村

清野村

若野村

西條村

岡倉村

平林村

若柳村

取田村

赤條村

加賀井村

田中村

赤子尾村

柴村

紙屋町村

高差万石九百之石石斗七升七合

都合拾百石

右今度は左之郷村之帳面相改
及

上岡所被成下

所列也此成與人

奉行取立

以月執達四件

戸田来女心

寶曆十一年十月廿一日

氏英判

松平和泉守

宗佑判

真田淨夏守殿

[Faint, illegible handwritten text, likely bleed-through from the reverse side]

口上之

何村
何寺

高才寺及那五... 何寺
... 何寺

目一

... 何寺

目一

口上之

何村
何寺

... 何寺

丁酉年正月廿一日

月

廿一日

一 亥辰年二月

日

丁酉年正月廿一日

日

廿一日

丁酉年正月廿一日
丁酉年正月廿一日
丁酉年正月廿一日

廿一日

丁酉年正月廿一日

日

廿一日

丁酉年正月廿一日

廿一日

丁酉年正月廿一日
丁酉年正月廿一日
丁酉年正月廿一日

廿一日

日

丁酉年正月廿一日

廿一日

丁酉年正月廿一日
丁酉年正月廿一日
丁酉年正月廿一日

河村の屋敷に... 遊居... 遊居... 遊居...

遊居...

寛政三十四年

口上之文

河村の屋敷に... 遊居... 遊居... 遊居...

遊居...

口上之文

河村

河村の屋敷に... 遊居... 遊居... 遊居...

河村の屋敷に... 遊居... 遊居... 遊居...

遊居...

口上之文

河村の屋敷に...

河村の屋敷に... 遊居... 遊居... 遊居...

遊居...

口上之文

河村の屋敷に... 遊居... 遊居... 遊居...

計帳

右前例より

一

一

九寸
四方
是の二天

右前村

一 〇二〇〇〇〇〇〇

一 〇二〇〇〇〇〇〇

一 〇二〇〇〇〇〇〇

一 〇二〇〇〇〇〇〇

一 〇二〇〇〇〇〇〇

一 〇二〇〇〇〇〇〇

一 〇二〇〇〇〇〇〇

一 〇二〇〇〇〇〇〇

〇二〇〇〇〇〇

〇二〇〇〇〇〇

〇二〇〇〇〇〇

〇二〇〇〇〇〇

〇二〇〇〇〇〇

〇二〇〇〇〇〇

〇二〇〇〇〇〇

〇二〇〇〇〇〇

一 〇二〇〇〇〇〇〇

一 〇二〇〇〇〇〇〇

一 〇二〇〇〇〇〇〇

一 〇二〇〇〇〇〇〇

一 〇二〇〇〇〇〇〇

一 〇二〇〇〇〇〇〇

一 〇二〇〇〇〇〇〇

一 〇二〇〇〇〇〇〇

一 〇二〇〇〇〇〇〇

一 〇二〇〇〇〇〇〇

一 〇二〇〇〇〇〇〇

一 〇二〇〇〇〇〇〇

一 〇二〇〇〇〇〇〇

右列漢水

〇二〇〇〇〇〇

右列

〇二〇〇〇〇〇

右列

〇二〇〇〇〇〇

右列

〇二〇〇〇〇〇

右列

〇二〇〇〇〇〇

右列

〇二〇〇〇〇〇

右列

〇二〇〇〇〇〇

右列

〇二〇〇〇〇〇

右列

〇二〇〇〇〇〇

右列

〇二〇〇〇〇〇

右列

〇二〇〇〇〇〇

一 慶應八年申年九月廿七日 七

此の年九月廿七日

一 同日十三日申年九月廿七日 十八

此の年九月廿七日

一 同日二十日申年九月廿七日 七

此の年九月廿七日

一 同日二十五日申年九月廿七日 七

此の年九月廿七日

一 同日三十日申年九月廿七日 七

あり

一 同日十月一日申年九月廿七日 七

一 同日十月二日申年九月廿七日 七

一 同日十月三日申年九月廿七日 七

此の年九月廿七日

一 同日十月四日申年九月廿七日 七

此の年九月廿七日

一 同日十月五日申年九月廿七日 七

あり

一 同日十月六日申年九月廿七日 八

此の年九月廿七日

一 同日十月七日申年九月廿七日 七

あり

一 同日十月八日申年九月廿七日 七

あり

一 同日十月九日申年九月廿七日 七

一 同日十月十日申年九月廿七日 七

此の年九月廿七日

一 同日十月十一日申年九月廿七日 七

一 同日十月十二日申年九月廿七日 七

此の年九月廿七日

此の年九月廿七日

此の年九月廿七日

此の年九月廿七日

此の年九月廿七日

此の年九月廿七日

此の年九月廿七日

此の年九月廿七日

此の年九月廿七日

此の年九月廿七日

此の年九月廿七日

此の年九月廿七日

此の年九月廿七日

此の年九月廿七日

此の年九月廿七日

此の年九月廿七日

此の年九月廿七日

此の年九月廿七日

此の年九月廿七日

此の年九月廿七日

此の年九月廿七日

此の年九月廿七日

七

一 四月三日

一 四月三日

一 四月三日 四月三日 四月三日

一 四月三日 四月三日 四月三日

一 四月三日 四月三日 四月三日

一 四月三日 四月三日 四月三日

一 四月三日

一 四月三日 四月三日 四月三日

一 四月三日 四月三日 四月三日

對面

任心修子... 11

三年

任心修子... 11

任心修子... 11

三年

任心修子

口

任心修子... 11

任心修子... 11

任心修子... 11

任心修子... 11

任心修子

任心修子... 11

任心修子

任心修子

任心修子... 11

任心修子

任心修子

任心修子... 11

任心修子

任心修子

任心修子... 11

任心修子

任心修子... 11

任心修子

任心修子

任心修子

任心修子

任心修子

任心修子

任心修子

任心修子

任心修子

任心修子

任心修子... 11

一 山内... (vertical text)

山内... (vertical text)

十一

長井... (vertical text)

山内... (vertical text)

十一

山内... (vertical text)

山内... (vertical text)

山内... (vertical text)

口之邊

八田... (vertical text)

山内... (vertical text)

山内... (vertical text)

山内... (vertical text)

十一

山内... (vertical text)

山内... (vertical text)

山内... (vertical text)

山内... (vertical text)

山内... (vertical text)

宣統三年二月

一月二十日沙日海... 月津入... 原... 水... 月...

口上

道順... 庵... 宣... 事... 中... 十... 月... 水... 池... 石... 寺... 物... 一... 種... 号... 紀... 古... 跡... 古... 迹... 月... 廿... 度... 日... 未... 刻... 性... 願... 月... 領... 日... 河... 水... 流... 中... 日... 水... 其... 日... 刻... 以... 上...

真田守... 寺... 社... 及...

明和八年... 分... 辨... 土... 解...

池... 八... 丈... 下... 竹... 在... 長... 下...

性... 寺...

宣統三年

山... 城... 波... 乃... 之... 於... 之... 在... 本... 中... 山... 宮... 寺... 之... 日...

中村海福の一件に致知(三)及び
海城(三)の因縁(三)の紙巻(三)の紙巻(三)
右の紙巻(三)の紙巻(三)の紙巻(三)
三三三

如以勸告
長井(三)の
竹田(三)の

雙林寺

海城(三)の紙巻(三)の紙巻(三)

川合村(三)の紙巻(三)の紙巻(三)の紙巻(三)
海(三)の紙巻(三)の紙巻(三)の紙巻(三)
寺(三)の紙巻(三)の紙巻(三)の紙巻(三)
心(三)の紙巻(三)の紙巻(三)の紙巻(三)

海城(三)の紙巻(三)の紙巻(三)

川合村(三)の紙巻(三)の紙巻(三)の紙巻(三)

寺(三)

心(三)の紙巻(三)の紙巻(三)の紙巻(三)

海城(三)の紙巻(三)の紙巻(三)の紙巻(三)

川合村(三)の紙巻(三)の紙巻(三)の紙巻(三)

寺(三)の紙巻(三)の紙巻(三)の紙巻(三)

心(三)

海城(三)の紙巻(三)の紙巻(三)の紙巻(三)

川合村(三)の紙巻(三)の紙巻(三)の紙巻(三)

寺(三)の紙巻(三)の紙巻(三)の紙巻(三)

心(三)の紙巻(三)の紙巻(三)の紙巻(三)

海城(三)の紙巻(三)の紙巻(三)の紙巻(三)

川合村(三)の紙巻(三)の紙巻(三)の紙巻(三)

了る所

し

別紙

近年法國と海峽の事
 船通しに於て師道多岐に
 場多岐に於て一法に於て
 文百姓の事と事令事と
 令力法を事と事と事と
 押る事と事と事と事と
 通る事と事と事と事と

金銭法を事と事と事と事と
 心身法を事と事と事と事と
 河原中ら大交言る事と事と事と事と
 ともいふ事と事と事と事と
 自らいふ事と事と事と事と
 著る事と事と事と事と
 眼入る事と事と事と事と
 順至北に法場と事と事と事と

一 右法に於て事と事と事と事と
 と法及事と事と事と事と
 之法を事と事と事と事と

吾之傷可之也... 是又少科之... 此以海場... 右... 左...

此... 右... 左... 此... 右... 左...

唐... 唐...

此... 右... 左... 此... 右... 左... 此... 右... 左...

生... 此... 右... 左... 此... 右... 左...

たふらふと天八三打揃い
府内蔵き限奉るに在るに
座を湯源かゝるに志は
施物と清本入るにおまき者
て加あらるるに母座子に御代神
ふはらあらるるに母材を御代
と神と山代まきし類に御代
順主地は及ぶに母に御代
美於おまらるるに母に御代
このや

お福村にまきるに御代に
言れ物成に材はくはあは
お福にまきるに

二

一 寺社名の節節凡は分何 寺社名

一 寺社名の心 寺社名

一 作月身是之職年以之より更及

一 川原之川河河河河河

一 寺社人修験年以之流之河河河

一 寺社名 寺社名

一 諸之福寺寺之河

一 寺社名 寺社名

一 寺社人修験寺之河河河

一 寺社人修験寺之河河河

一 寺社名 寺社名

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

一 佛指宮 淨土宗法

一 沙法寺 淨土宗法

一 淨土寺 淨土宗法

一 寺社 淨土宗法

一 寺社 淨土宗法

一 寺社 淨土宗法

一 寺社 淨土宗法

一 寺社 淨土宗法

一 寺社 淨土宗法

一 寺社 淨土宗法

一 寺社 淨土宗法

一 佛指宮

一 沙法寺

一 淨土寺

一 寺社

一 寺社

一 寺社

一 寺社

一 寺社

一 寺社

一 寺社

一 寺社

寺社其の流及るる如故之様也
其の流及るる河川に於て

神人神皇舞舞神子之寺社其の流

支此の流湯師座以西之舟の合河

之地に於て那其の支此の事

一 大徳寺唐回為度之住之蓮光院

寺社其の流及るる河川に於て

寺社其の流及るる河川に於て

寺社其の流及るる河川に於て

寺社其の流及るる河川に於て

那其の流及るる河川に於て

寺社其の流及るる河川に於て

七月

寺社其の流及るる河川に於て

寺社其の流及るる河川に於て

Faint bleed-through text from the reverse side of the page.

天保十四卯年三月廿日

寺社奉行

一 寺社奉行御奉行 町奉行 在左
之奉行 之奉行 在左

一 勤王 之奉行 御奉行 在左
之奉行 御奉行 在左

一 江法 之奉行 御奉行 在左
之奉行 御奉行 在左

一 寺社奉行 御奉行 在左
之奉行 御奉行 在左

寺社奉行御奉行

御奉行

御奉行

山後の山に後水坂あり

一 伊豆新出席是也

一 事

一 寺社方面及支那

一 山家(山家)

一 事

御筆

松本流八

山後山に後水坂あり

一 事

松本流八

山後山に後水坂あり

一 事

松本流八

山後山に後水坂あり

一 事

松本流八

山後山に後水坂あり

一 事

松本流八

一 寺社方面及支那

一 山家(山家)

一 山後山に後水坂あり

一 山後山に後水坂あり

一 沙目書新出史記
右子子子子子子

寺社

浩不六及浩新

一 七火...

一 与社方...

右子子子子子子

寺社

一 勤方...

一 与社方...

一 与社方...

山口新年

一 与社方...

一 与社方...

一 寺社...

寺社

寺社

一 寺社...

寺社

寺社

[Faint, mostly illegible text in cursive script, possibly bleed-through from the reverse side.]

那書

思
之
今
也
及
居
一
段
之
長
短
也
也

之

那書

及
皆
然
也

之

那書

那書

之

竹村金書

心華之辨

三

竹村金書

竹村金書

三

竹村金書

今致誠其心

張其心

竹村金書

竹村金書

誠心也

竹村金書

竹村

三

竹村金書

竹村金書

三

竹村金書

竹村金書

三

竹村金書

仲書方在卯火

三十一

為好在此

為好在此

竹村金也

山寺法也

字の改新は 信也

三十一

為好在此

也改新は 乃有候は 信也

元中及多事は 信也

おのれは 信也

三十一

竹村金也

信也

三十一

竹村金也

也改新は 乃有候は 信也

三十一

竹村金也

也改新は 乃有候は 信也

三十一

Handwritten cursive text at the top of the right page.

Handwritten cursive text below the top line on the right page.

Handwritten cursive text on the right page, possibly a signature or date.

Handwritten cursive text on the right page.

Handwritten cursive text on the right page.

Handwritten cursive text on the right page.

Handwritten cursive text on the right page.

Handwritten cursive text on the right page.

Handwritten cursive text on the right page.

Handwritten cursive text on the right page.

Handwritten cursive text on the right page.

Handwritten cursive text on the right page.

Handwritten cursive text on the right page.

Handwritten cursive text on the right page.

Handwritten cursive text on the right page.

Handwritten cursive text on the right page.

Handwritten cursive text on the right page.

Handwritten cursive text on the right page.

Handwritten cursive text on the right page.

Handwritten cursive text on the right page.

Handwritten cursive text on the right page.

Handwritten cursive text at the top of the left page.

Handwritten cursive text below the top line on the left page.

Handwritten cursive text on the left page, possibly a signature or date.

Handwritten cursive text on the left page.

Handwritten cursive text on the left page.

Handwritten cursive text on the left page.

Handwritten cursive text on the left page.

Handwritten cursive text on the left page.

Handwritten cursive text on the left page.

Handwritten cursive text on the left page.

Handwritten cursive text on the left page.

Handwritten cursive text on the left page.

Handwritten cursive text on the left page.

Handwritten cursive text on the left page.

Handwritten cursive text on the left page.

Handwritten cursive text on the left page.

Handwritten cursive text on the left page.

Handwritten cursive text on the left page.

Handwritten cursive text on the left page.

Handwritten cursive text on the left page.

Handwritten cursive text on the left page.

此後... 2000

一... 2000

... 2000

... 2000

... 2000

... 2000

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

廿二日

三

張

在... 行

Faint bleed-through text from the reverse side of the page.

一 餓死スル者、總身黒ク瘦テ

硬ク直ニ眼ヲ吊キ口ヲ吊キ手

豆トモニ伸ルモノナリ

一 死後ニ水中ニ棄ル者ハ指爪

ノ中ニ沙汰^{ハ+}ハナシ

一 歩殺ニ水中ニスツル者ハ肉

ヲ灰色ニシテ白カラス口眼トモ

ヲサギ兩指サシ屈ミ腹ヲク

レズ指爪ノ内ニ沙泥ナシ

一 歩殺水中ニスツル者肉芽

色ニシテ白カラズ口眼トモフ

サギ兩指少ニ屈ニ腹ヲクシ

ス指爪ノ中ニ沙泥ナシ

一 水中ニテ死タル者初春ノ頃

或ニ水中ニ立ニ杯ニ救日ヲ

歷テ浮フ春ノ末ト夏ノ

初ニ同ニカウズ

一 歩殺ニテ後水中イ入り或ハ

水中イ入ルニ水保ケレハハラ

ハ浅ケレハ腹ハル事少ニ其

死巖艾ノニナリテ白カラズ

口眼鼻キ両キヲ鼻キ髪私

腹ハラズ口眼耳鼻水流荒

事十三指爪着物ノスイノ等ニ

沙沈十三兩午ノ奉テ、
兩足ノウチ燻アラズ布テ
フクル、モノナリ

一 火ニ焼テ死スル者ハ口鼻年
ノ内ニ灰アリ

一 男子房事ニテ婦人ノ身
ノ上ニ在リテ死スル者ハ陽物
衰イズ偽ナレハ陽物痿ス

一 毒菜ニ中リテ死スル者ハ銀ノ
カニサニカウカイノ類ヲ咽喉ノ

中ニ暫ノ間サシコミ直テ取出ス
其色クダラシ毒菜ノ證也ナリ

一 絞リ殺サル者ハ其殺サル時
血念ナルミニ氣上ニアツセル故

頂ノ肉甚タ堅キ物ナリ若キ是ニ
シハリ縫リタル痕ヲクハ古ヲ

カミ破リタル痕アルカ兩階ノ
アタリニ踏タル痕或ハ腫タル
所アルベシ

一 人ニ後リ殺サル者ハ眼ニ異キ
兩午ヲ異キ髪ハ元礼シ咽喉ニ
一週ノ黒キスニ有

一 自縊者ハ細引繩帯ノルイ
クハリタル痕有ハ勿論ナリ

左右ノ耳ノ後濃ク紫色ナリ
眼ヲフサキ唇ハ元キ字ヲニキリ
齒ニ病シ後リタル所喉ノ上ニアル
時ハ齒ノアタリ逆舌出ル喉ヨリ
下ニテ後リタルハ舌コトノチカ長ク
出ル也涎沫唇ノアタリ赤異也

コト百

一 亦殺タル者ヲ後ニ自耳後ト

一 傷者ハ口眼多クハ完キキテ口ロギ
髪孔喉モ血脉通セサルコイ
縊タル痕アサク色モ薄ク血
カクタル黒キ跡ナシ古ラ出共
頂上ノ肉孔跡杯有ベシ

一 人ニ縊リ殺サルハ手ノ指甲スリ
カラシカキカラシ爪ノ腹ズル夏有ベシ
人ニ歩換ジラレ繩ヲ以テ縊リ

殺サル者ハ喉下タ、六七寸計
赤クナリテ後ノ方エリ連テラズ
唇ニリハタノアタリ日後共汁沃ニ出ル物ナリ

一 死タル後ニ自身縊リタル解ニ
モテナス物ハ氣血廻ラサル故
其跡クハ痕赤紫色ニナラズ
白クナルモノナリ

一 自縊テ死スル者ハ兩眼ヲ合セ

一 唇黒ク皮^ニ異キ齒ヲアラス
若喉ヨリ^ナナ^ク後シハ^ハ口ヲト^シ舌ヲ
出サズモ^シ喉ヨリ^ナ下ヲ^シ後シハ
口ヲ^ナ異キ^ク舌出ルナリ^ニ顔色^ハ紫
赤色^ニナリ^ト口サキヨリ^ニ涎沫ヲ
吐キ^テ両手ノ^ニ拳ヲ^ナニキリ^テ手ノ
大指^ニ兩脚ノ^ニ尖^トタシ^テ下リ^テ口ニ
ナリ^テ血ノ^ニカ^クタル^所有^ニナリ

火ニ^テ強ク^テアブリ^テテ^マダラ^シナリ
タル^如ク^ノ痕^有其上^ニ腹^下ヨリ
小便^ノアタリ^テ迄^テナ^クイリ^テ下^リ
色^青黒^クナリ^テ大小^便ヲ^テノ
ズカラ^シ出ル^{ナリ}

一 自喉^下ヲ^テ割^テテ^テ死スル^者ハ^其
死^ニ口^眼ヲ^テ口^ニス^ルニ^テ両手^ノ拳ヲ^テ
握^リ脊^骨曲^テ縮^リ肉^色ヲ^テ紫^ニナ^リ

テ髪杯礼しズスベテ生前ノ
又傷血ノ痕有死後ノ又
傷血ノ痕ナシ

一 凍死スル者ハ眼ヲ寒キ方ト
米糞門ト皆出ルモノナリ別ニ
子細ナシ顔色青白也ニ
齒ヲクイニテ身ハ真直ニノ
タリマナリ

一 亦殺サシテ地上ニ倒シタル者
其死骸ノ在所ニテ甘露ヲ焚
テ其以テ掃除スレテ土色ヲ屍ノ
形ノマニ色カハナリ他所ト
移ニ置タルハ色カハラズ



